

とちぎっ子通信

こどもの健やかな成長を育むために 第6号

令和3年初夏号



ことばに乗せて



ことばに乗せて、伝えたいものは何でしょうか？

ことばを受け取り、感じることは何でしょうか？

ことばは、コミュニケーションの一つのツールであり、人と人をつなげるものです。

うまくつながって行くためには、人にどんなことばを伝え、話をするとよいのでしょうか？面白くて楽しい話で盛り上がると、人は優しい気持ちになり安心できる人と、もっと話をしたくなります。

幼い時に、あるいはことばを話さない子でも、にこにこして、ぺこりとお辞儀したり、バイバイしたり、コミュニケーションのサインがあれば、相手はそれを受け取り、関わり合いが始まります。

広い意味でのコミュニケーションの上手な子どもが育つには、なにか良い方法があるのでしょうか？通信機器がどんどん便利に発達している今、大人は自分が育った道のりだけをなぞって、子どもにコミュニケーションの術を教えることは難しくなりました。未熟な発達段階にある子どもの脳に、ハイレベル機器の情報がどのように影響していくのか、未知の課題に立ち向かって行かなければなりません。

ことばに乗せて、伝えたい自分自身をしっかり持てるようにすること、そして、人から受け取ったことばに相手の考えや思いを想像できる力をつけること、便利な機器に振り回されずに人間のコミュニケーションの基礎を育てるにはどうしたらよいのか？子どもの発達や特性を踏まえて、根気よく、あきらめずに、そして楽しく教えていくことが大切であり、私たちもご家族とともにチャレンジして行きたいと思っています。

とちぎっ子発達クリニック 院長 小黒範子



<読み聞かせオススの絵本>

だっこのおにぎり

校成出版社 著者 長野ヒデ子



親子のスキンシップを
楽しめる絵本です

おにぎりぎゅっぎゅっでぎゅうと抱っこします、お塩ペタペタで、ほっぺやからだを触ります。梅干し入れて、お腹をツンツン！

オニじゃないよおにぎりだよ

えほんの杜 著者 シゲタサヤカ



小学低学年向き
子供に人気！
親子で笑えます

おにぎり好きのオニたちが「俺達が本当のおにぎりの味を教えてやる！」
子供たちに大うけです。

言語聴覚士ってなに？



主にことばやコミュニケーションの訓練をしています。

当クリニックの言語療法では下記のようなお子さんを対象にリハビリを行っています。

○ことばの発達がゆっくりなお子さん

【内容】

- ・発達やことばの検査
- ・今、持っていることばや、やり取りの力を伸ばせるような働きかけを親御さんと一緒に行っていきます。



○発音不明瞭なお子さん

サ・タ・カ・ガ・ラ行が言えないなど

【内容】

- ・口の動きを確認、話の評価
- ・発音の練習



○吃音のあるお子さん

「ああああのね」、「あーのね」、「・・・あのね」
といった話し方になってしまう

【内容】

- ・楽しく話ができるように環境を整えていきます。

○学習障害のあるお子さん

読めるけど音読に時間がかかる

【内容】

- ・読んだり・書いたりするテスト
- ・自宅でできる学習の方法の提案



ことばの力を伸ばすためには、日常での規則正しい生活・安定した親子関係・身体の発達が必要になります。そのため、毎日の生活の中で人と関わりながらいろいろな体験を積み重ね、本に親しみ、自然にことばの理解を深めることが大切です。

今回は「ことばの力を伸ばす関わり方」についてお話ししましょう。



<あとがき>

みなさん、新学期や新生活も落ち着いてきましたか。新しい環境や難しい課題に向き合いながら過ごす子供や大人も、日々一生懸命ですね。過度な緊張や不安が続くことは、心や体の健康にも影響を及ぼします。「なんとかなるさ」と笑顔で深呼吸しましょう。肩の力を抜いて、週末は、オスマの絵本で紹介した「おにぎり」をご家族で一緒に作って食べてみませんか。(石井)